

# 月報(4)

2010年7,8月号

## 1. 利用状況〔7月1日～8月31日〕

### 1) 総括

総利用者数 **2570人**〔2009年度 2380人, 2008年度 2249人〕  
**69.5人/日**〔学習相談 2416人(37日), 補習授業 152人(15日)〕

### 2) 利用統計

学科・学部別利用者数

学部	年度	2010						2009	2008
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年以上	合計		
理工学部	C科	257人	35人	14人	1人	0人	<b>307人</b>	69人	253人
	A科	328人	136人	142人	30人	0人	<b>636人</b>	534人	561人
	E科	286人	154人	317人	66人	4人	<b>827人</b>	1068人	941人
	M科	223人	152人	105人	5人	0人	<b>485人</b>	352人	206人
	B科	***	92人	76人	3人	0人	<b>171人</b>	335人	268人
	R科	48人	***	***	***	***	<b>48人</b>	***	***
	V科	2人	***	***	***	***	<b>2人</b>	***	***
経営学部		11人	3人	0人	0人	0人	<b>14人</b>	22人	20人
法学部		2人	0人	8人	2人	0人	<b>12人</b>		
外国語学部		9人	0人	0人	2人	0人	<b>11人</b>		
経済学部		7人	0人	0人	0人	0人	<b>7人</b>		
薬学部		48人	大学院	0人	留学生別科	2人	<b>94人</b>		

学年別利用者数

年度	2010	2009	2008
1年生	<b>1221人</b>	623人	1175人
2年生	<b>572人</b>	1043人	885人
3年生	<b>662人</b>	652人	104人
4年生	<b>109人</b>	40人	83人
その他	<b>6人</b>	22人	2人

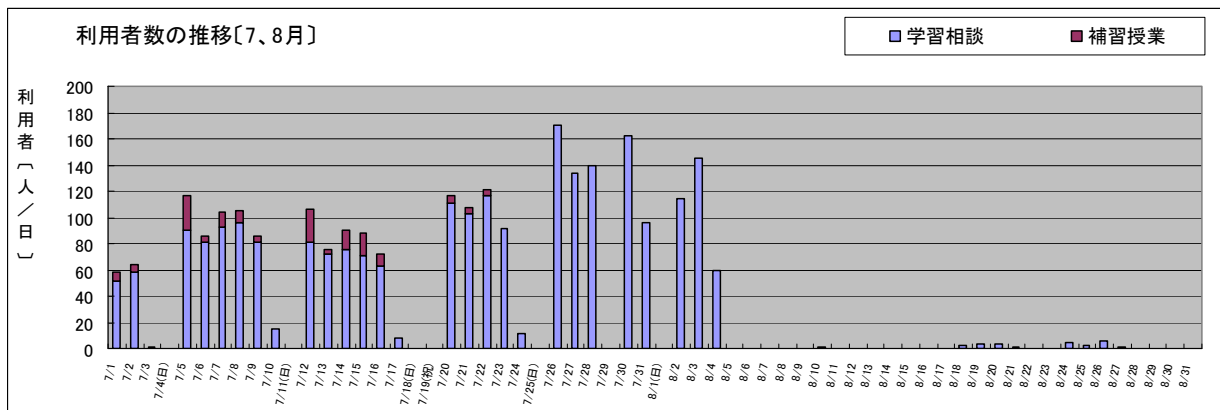
科目別利用者数

年度	2010	2009	2008
数 学	<b>595人</b>	994人	1157人
物 理	<b>103人</b>	210人	441人
英 語	<b>27人</b>	45人	74人
情 報	<b>9人</b>	23人	33人
化学・生物	<b>20人</b>	3人	544人
専門・一般	<b>132人</b>	292人	
自 習	<b>1609人</b>	783人	
その他	<b>75人</b>	30人	

7,8月の利用状況を表に示した。1年次生の利用が前年度よりも多くなり、一昨年度並みの数であった。学年別利用者数を比較してみると、2009年度入学生の利用が少ないといえる。今回は前期期末試験があったため、薬学部1年次生の利用も多かった。科目別では前年度、前々年度に比べて専門教科や一般教科の利用は減少しており、自習やその他(基礎ゼミ、SPIなど)の利用が増えている。理工学部以外の学生の利用率については、前月2.0%であったものが今回は3.7%へと増加しており、理工学部以外の学生の利用も徐々に増えてきている。

### 3) 利用者の推移

7, 8月の利用者数の推移を表に示した。7月下旬より期末試験が実施されたこともあり、実施の週はその前に比べて利用者が多くなっている。夏期休業中の閉校期間終了後には、薬学部の再試験受験者や卒業研究を行なっている4回生の利用が8月末までであった。



## 2. 今月のトピックス

### \* [7月15日(木)]

微積分 I の期末試験対策用の類題と電気数学のテキストの正誤表を支援センターのHPにアップし、同時に支援室内でも掲示と配布を行った。

### \* [7月22日(木)]

支援センターHPの Download のページを更新した。

### \* [8月4日(水)]

支援センターのHPに夏期休業期間中の開室予定表をアップした。

### \* [8月5,6日(木,金)]

前期期末試験中であったが、例年利用者が少ないため、支援室を閉室として、オープンキャンパスの準備を行った。

### \* [8月7日(土)] と [8月29日(日)]

オープンキャンパスが実施された。学習支援室(1)をパネル展示室、学習支援室(2)をSU-FreeSBIEの体験コーナーとし、13号館の学びライブにもブースを設けて、支援センターの紹介を行った。学習支援室(1)は、スタンプラリーのスタンプ設置場所に指定されているため、保護者、受験生が多く訪れた。

### \* [8月7日(土)]

オープンキャンパスの業務終了後、平成22年度工学教育研究講演会の研究発表の予行演習を行った。発表者菅波、聴講者井上(E科)、一色(M科)、田中、荒木(センタースタッフ) [敬称略]。意見交換も行った。

### \* [8月21日(土)]

平成22年度工学教育研究講演会(於東北大学)にて研究発表とオーガナイズドセッションに菅波が参加した。演題は「多様化する学生の学習支援とその効果」-摂南大学教育センターにおける取り組み-

## 3. 雑感

依然として厳しい残暑が続いている。そのためではないと思うが、冷房の効いた支援室には8月末まで、学生の利用があった。例年ならば利用者がいないため期末試験が終わると、支援室は閉めているのだが、今年は学生からの利用の申し入れもあり、閉校期間後も開室することにした。4月から全学の学習支援室となつて以来、日を追うごとに文系学部の学生の利用も増えてきた。利用の内訳を見ると数学の学習相談よりもむしろSPIや公務員試験などの対策での利用が圧倒的に多い。中には来年度大阪府警の採用試験を受験したいからと、6月頃から定期的にテキストを片手にやってくる学生がいる。法学部の3回生で剣道部に所属しているという。彼には継続して学習することと繰り返し学習することを伝えている。そのためか、夏休み中も練習が終わってから時々やってきた。就職氷河期に入りずいぶん経つが、まだまだ学生の就職は厳しいものがある。そのため、早くから意識して取り組むことが大切だとも思う。彼のような学生が増えてくれることを願っている。

(担当 菅波昌広)